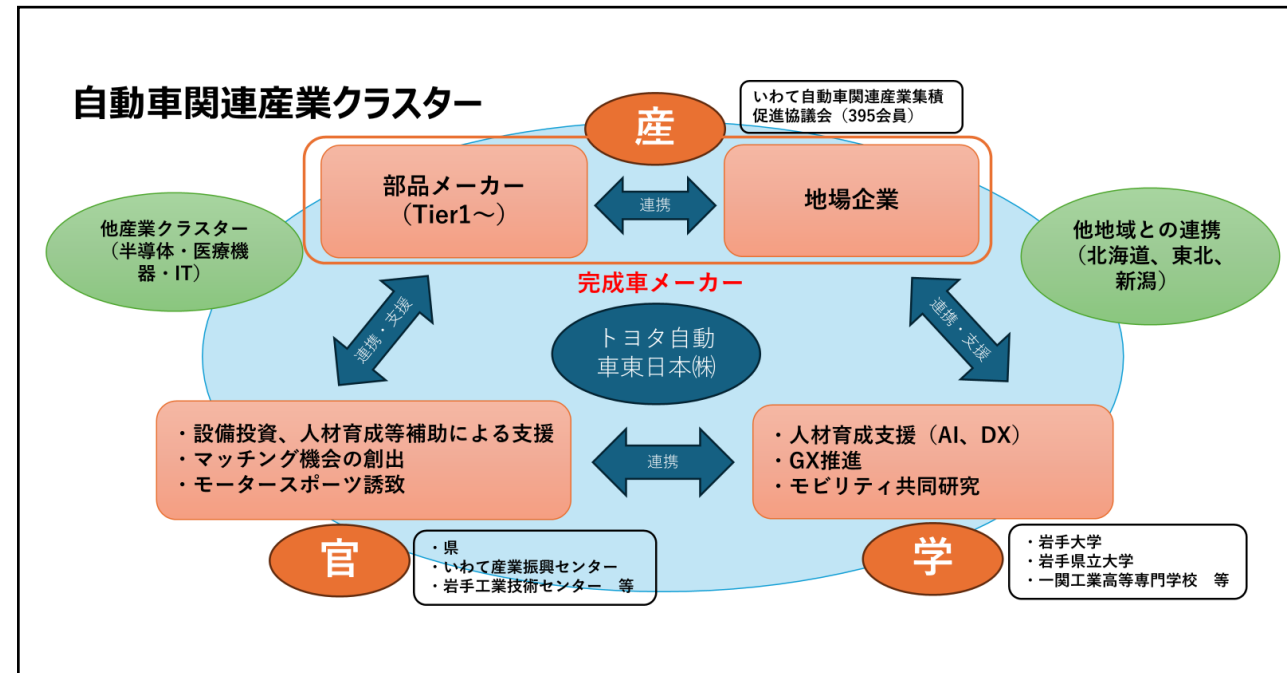


1. 産業領域

モビリティ産業への変革を目指す自動車関連産業

2. 対象エリア

金ケ崎町、北上市、奥州市、一関市、花巻市、平泉町など、北上川バレープロジェクトに関わる区域



3. 目指す姿 (目標)

国内有数の生産拠点として、SCの質的強化により産業構造の変化に対応し、新たな価値を生み出し続ける自動車産業クラスターを形成

【必須KGI】

- ① 官民設備投資額 約108億円 (2036年度)
- ② 付加価値増加額 約455億円 (2036年度)
- ③ 産業人材育成数 1,650人 (2036年度)

4. 勝ち筋

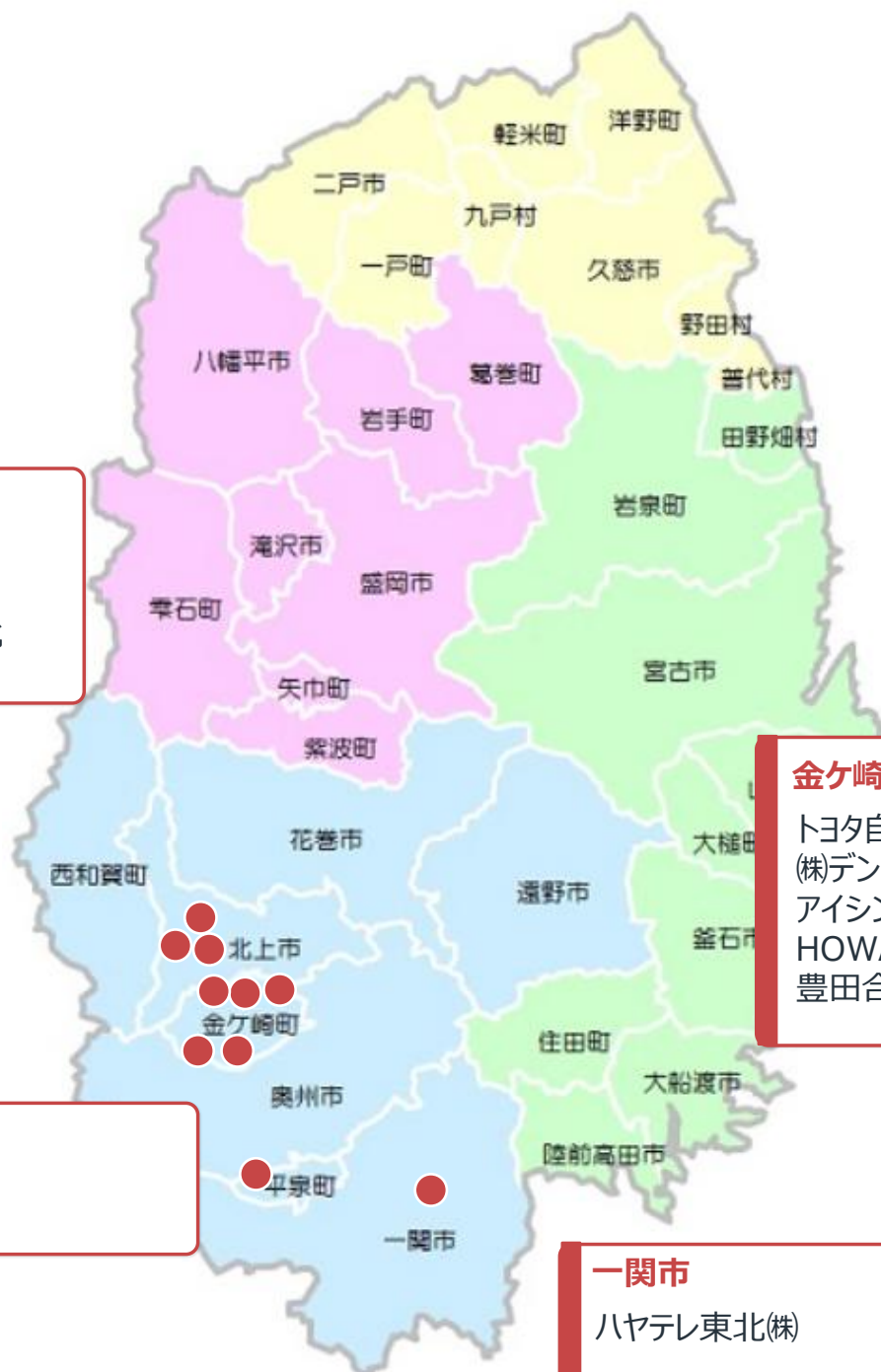
- (1) 完成車の生産拠点としてのSCの研鑽
長年、高品質な完成車の生産拠点を支えてきたSCについて、電動化、水素やバイオ燃料等の新技術への対応などの支援を強化
- (2) 高付加価値化の実現
地場企業の品質向上、AI活用やDX推進による生産性向上を強力に支援
- (3) 新たな価値創出の推進
移動の楽しさづくり、クルマファンの拡大などの新たな価値創出、地域の課題とモビリティの融合の推進
- (4) 自動車協議会を核としたクラスター強化
・ 自動車関連産業集積促進協議会 (395会員) による取引拡大・人材育成
▶ 将来の完成車生産台数拡大等に対応できるSCの構築

5. 政策手段

- (1) モビリティ産業への変革対応の促進
 - ・ 電動化、GX、AXへの対応に伴う設備投資、人材育成の支援
 - ・ 産学官連携による次世代自動車技術及び異業種と企業のマッチング推進、共同研究、人材育成等の推進
 - ・ 交通空白地域での自動運転等、社会課題に対応した新たなクルマづくり支援
 - ・ モータースポーツを起点としたクルマファンの裾野拡大及び産学官連携強化
 - ・ 産業支援機関等による企業と連携した人材育成等の支援
- (2) DX化、AI活用の促進等
 - ・ 企業連携によるAI活用人材育成の支援
 - ・ 省人化や省力化を目的とした設備投資支援

岩手県 自動車関連分野における地域産業クラスター計画の概要

【岩手県】自動車関連分野における地域産業クラスター計画の企業所在地



北上市

トヨタ紡織東北(株)
東北小島(株)
(株)マルヤス・セキソー東北

金ケ崎町

トヨタ自動車東日本(株)
(株)デンソー岩手
アイシン東北(株)
HOWA岩手(株)
豊田合成東日本(株)

平泉町

(株)フタバ平泉

一関市

ハヤテレ東北(株)

計画推進の核となる企業

- ・トヨタ自動車東日本(株)
- ・(株)デンソー岩手
- ・アイシン東北(株)
- ・トヨタ紡織東北(株)
- ・(株)フタバ平泉
- ・東北小島(株)
- ・ハヤテレ東北(株)
- ・HOWA岩手(株)
- ・(株)マルヤス・セキソー東北
- ・豊田合成東日本(株)

計 10者